

現地体験後の活動

各自治体での活動を通じ、地域について理解を深めた隊員が「東京での活動」として、情報発信やイベント等への協力を行います。現地体験でプログラムが終了するのではなく、継続して学生との関係を築きたいという地域の想いと、東京の人へもっと創立者出身3地域の魅力を伝えたいというふるさと活動隊の想いが形となった活動です。

ふるさと納税大感謝祭@横浜赤レンガ倉庫（10月22日）

全国 61 の自治体が横浜に集まり、各自治体の広報を兼ねて行われるイベントの「天童ブース」にふるさと活動隊も参加しました。当日は、市の職員の方と協力して、天童牛やラ・フランスなどの特産物のPR活動や、自分達で作成した観光MAPを用いて、多くの来場者に天童市の魅力を伝えました。

また、活動隊の1人が、天童市のご当地キャラ「ラフちゃん」に扮して会場を練り歩き、独特な動きで子供達からの人気を集めていました。



明治大学ホームカミングデー物産展（10月22日）

ホームカミングデーは大学の卒業生を招き、教授陣の講演会や在学生によるキャンパスツアー、サークルやゼミ発表、理系学部による子ども向けワークショップなどを行う大学イベントです。毎年 4000～5000 名の卒業生やその家族が参加し、母校でのひとときを過ごしています。

今年もホームカミングデーのコーナーである物産店に、ふるさと活動隊が駆けつけ、鳥取・鯖江・天童から出店された各地域の物産品を販売する店舗でのお手伝いをしました。3地域の物産品は活動隊の活躍もあり、卒業生やそのご家族にも地域の魅力が伝わる大盛況のイベントとなりました。



今後も3地域のPRイベントの際は、ふるさと活動隊が駆けつけます！